

安全・安心に通行できる道路環境へ

問合せ 道路河川課 ☎ (43) 1111 内線 553、554・FAX (42) 9115

乗り上げブロックなどの撤去を

車庫や駐車場の出入口前の道路に、車道との段差解消のため乗り上げブロックや鉄板スロープを置いていませんか？こうした乗り上げブロックなどの設置は、通行の障害となり大変危険です。歩行者がつかずいたり、オートバイや自転車の転倒事故を誘発したり、思わぬ事故の発生原因になります。設置してある場合は、撤去をお願いします。※撤去後の段差解消工事の実施には申請が必要となり、費用は個人負担になります。詳細は、お問い合わせください。

道路に穴があいていたら

道路の破損を放置しておく、車両事故や、歩行者のけがの可能性があり、非常に危険です。市では道路の危険箇所の発見と補修に努めていますが、もし「道路に穴や陥没がある」「側溝のフタが壊れている」「ガードレールが壊れている」など、危険な箇所を見かけたら、現地の住所や目標物などを確認の上、連絡をお願いします。※私道や私有地については対応できません。



家の周辺道路に
このような穴は
ありませんか？

道路に張り出した枝の切り取り

道路に張り出した枝は、歩行者や自動車の通行の妨げとなります。これらが原因となり、事故が発生した場合、樹木の所有者が事故の責任を問われることもあります。事故を未然に防ぐため、樹木の適切な管理をお願いします。※ご自分で手入れができない場合は、業者やシルバー人材センターなどに依頼して、有料で行ってもらう方法もあります。

水の事故にご注意を！

海や川へレジャーに行く機会が増えるこれらの季節は、水の事故が増える季節でもあります。水の事故には十分注意しましょう。また、遊水池(調節池)は、立ち入りが禁止された区域です。釣りや水遊びなどのため、むやみに立ち入ることは絶対にやめましょう。

夏の交通事故防止運動 7月15日～24日

問合せ 幸手警察署 ☎ (42) 0110
危機管理防災課 ☎ (43) 1111 内線 582、583・FAX (43) 7656

夏は日が長くなり、涼しい早朝や夜間の外出が増え、子どもは夏休みになり自転車に乗る機会が増加します。また、夏の解放感から車の運転中の不注意も心配されるところです。一人ひとりが交通事故に遭わないよう、十分に気を付けましょう。

交通事故防止運動の重点

- ① 子どもと高齢者の交通事故防止
- ② 自転車の安全利用の推進
- ③ 飲酒運転の根絶および路上寝込みなどによる交通事故防止

市内の交通事故発生状況

平成31年1月1日～4月30日現在で、人身事故は72件でした。特に朝6時から9時までの時間帯が、全体の約22%と最も多く発生しています。また、物件事故は439件で、前年より70件多く発生しています。

人身事故件数	14.0件	県内ワースト2位
死傷者数	19.3人	県内ワースト3位
自転車死傷者数	4.1人	県内ワースト5位
高齢死傷者数	3.5人	県内ワースト6位

※人口1万人あたりの市内の事故件数

叙勲受章おめでとうございます



旭日双光章

たけうち たかし
竹内 孝氏
(大字下川崎)

氏は、幸手市議会議員として幸手市議会建設経済常任委員会委員長、幸手市農業委員会委員、幸手市都市計画審議会委員を歴任されるなど、長年にわたり市の発展と振興に寄与されました。



瑞宝小綬章

わくい こういち
涌井 幸一氏
(東1丁目)

氏は、経済産業省特許庁において審査官、上席審査長、審判部審判長などを歴任されたほか、弁理士試験委員、訟務室長を務めるなど、長年にわたり知的財産の保護と活用にご寄与されました。

各公民館、神扇公園テニスコート、勤労福祉会館の予約方法変更のお知らせ

広報さって6月号でお知らせしましたインターネット予約ができる施設に追加した、「各公民館・神扇公園テニスコート・勤労福祉会館」につきましては、電話による予約受付も行います。

予約方法 窓口、電話、インターネット
受付開始日 各公民館は利用日の2か月前から、
神扇公園テニスコート、勤労福祉会館は利用日の1か月前から

問合せ 中央公民館 ☎ (42) 5156
西公民館 ☎ (43) 0881 北公民館 ☎ (42) 6221
南公民館 ☎ (43) 6053 東公民館 ☎ (48) 0013
神扇公園テニスコート ☎ (48) 1169
勤労福祉会館(商工観光課) ☎ (43) 1111 内線 594

節水にご協力ください

問合せ 水道管理課
☎ (48) 0050・FAX (48) 0120

水は、私たちの生命を維持するために必要不可欠な資源です。

水需要の最盛期を迎え、各地で水不足が心配される季節となりました。みなさんのご家庭においても、一人ひとりが限りある資源である水を上手に使って節水を心がけましょう。

水不足(渇水)により予想される影響

- ・水道水を送り出す圧力を下げる減圧給水
- ・夜間の断水
- ・給水車などでの時間給水

断水による影響

- ・家事をする時間の大幅な制限
- ・消火活動や医療活動への影響
- ・入浴、洗濯、食生活への影響
- ・衛生状態の悪化による食中毒などの発生
- ・プール、公園の給水停止

水の上手な使い方

- ・お風呂の残り湯は、洗濯、拭き掃除、洗車、植木への散水に利用しましょう。汚れが目立たないお湯は、もう一度沸かして利用しましょう。
- ・シャワーの流しっぱなしはやめましょう。シャワーより浴槽にためて使ったほうが節水になります。
- ・お米のとぎ汁などは、まき水や、植木への散水に再利用しましょう。
- ・食器や調理器の油分は新聞紙などで拭いてから洗うと、節水につながります。

渇水時には、限られた水源でやりくりしなければなりませんので、日頃の節水が最も有効な手段です。

また、水道使用量を前回の使用量と比べてみると、節水効果の確認ができます。ちょっとした心がけで節水できます。ご家庭の状況に応じて工夫してみてください。